

MOT

講座コード

11210046

一般社団法人団地再生支援協会後援講座

団地再生実践講座 ③

—多様なプロジェクト展開へ—



セミナーの目的

老朽化住宅団地は建築・設備の老朽化ばかりでなく高齢化や空き家の問題などに対応できるよう“再生”が求められ、規模“10年で30兆円”の“新規大市場”である。

本講座はこの取組みに必要な“コミュニティの再生”、“住環境の再生”、“ハウジング経営の再生”のノウハウと技術を体系的に学ぶ場であり、多様な団地再生のプロジェクトマネージャーの育成を目的とする。

受講をお薦めする方

団地再生に関心を持つ自治体、団地自治会・管理組合の幹部、プランナー、デベロッパー、建設業、金融業の幹部



講義形式

レクチャー

講座概要

コーディネータ	澤田 誠二 明治大学理工学部教授
曜日	火曜日
時間	19:00~20:30
定員	30名
回数	6回
受講料	30,000円 (一般) 27,000円 (法人*)
教材	オリジナルレジュメ
ポイント	★

*法人会員料金とは、「リバティアカデミー法人会員」にご入会いただいている企業の方の料金です。

[法人会員制度](#) → 12頁

コーディネータ・講師紹介



さわだ せいじ 明治大学理工学部教授
澤田 誠二 一般社団法人団地再生支援協会副会長

1942年生まれ。東京大学大学院修了(建築生産専攻、1966)。日本とドイツで建築設計・技術開発に従事。工学博士(住宅政策の国際比較、1981)清水建設勤務(1982~2000)、エンジニアリング、建築企画に従事。滋賀県立大学教授(環境計画専攻)を経て明治大学教授(2002~)。団地再生研究会、団地再生産業協議会の設立に参加。地域開発、団地再生、建築生産に関する著作多数。



あびこ よしひこ 株式会社ジェス社長
安孫子 義彦 団地再生支援協会理事・基礎研究部会長

1968年東京大学建築学科卒業。工学修士。1970年株式会社ジェスを創立。住宅用熱負荷計算プログラムの開発、集合住宅用設備システムの研究開発、給排水関連の新製品開発に従事。現在代表取締役。1984年、建築設備の劣化診断技術を育成する日本建築設備診断機構(JAFIA)を設立、専務理事として現在に至る。2009年、団地再生支援協会の設立に参画、現在理事。共著に「住宅インテリアの設備」「建築単位の事典」「建築再生の進め方」「団地再生まちづくり」など。一級建築士、建築設備士、設備設計一級建築士。



ちかま しんいち 集工舎建築都市デザイン研究所所長
近角 真一

1947年生まれ。1971年東京大学工学部建築学科卒業。内井昭蔵建築設計事務所を経て現職(1978~)。日本建築家協会会員、日大、東京芸大講師を兼任。武蔵大学、麗澤大学などのキャンパス計画、大阪ガスNEXT21、フレックスコート吉田、求道学舎などの集合住宅(フレキシブル、サステナブル、リノベーション)のデザインと技術開発に従事。日本建築学会賞(業績2008)、JIA環境建築賞(2008)など受賞。NEXT21関係など著書多数。



たむら まさくに 株式会社アークブレイン社長
田村 誠邦 明治大学客員教授

1954年生まれ。東京大学工学部建築学科卒業 博士(工学)、一級建築士、不動産鑑定士。1997年株式会社アークブレイン設立。工学院大学大学院非常勤講師、共立女子大学非常勤講師、マンション再生協議会会員(学識経験者)。マンション建替え・建築再生等、各種建築プロジェクトのコンサルティング、コーディネイトを専門とする。「建築企画のフロンティア」、「建築生産(共著)」、「建築再生の進め方(共著)」他著書多数。



あきもと たかお NPO 多摩ニュータウンまちづくり
秋元 孝夫 専門家会議副理事長

1949年愛媛県生まれ、香川県育ち。東京電機大学建築学科卒業。1977年秋元建築研究所設立、1982年法人化。技術士(都市及び地方計画)、NPO多摩ニュータウンまちづくり専門家会議理事長。著書:実践コミュニティビジネス(共著、2003年、中央大学出版局)、ニュータウンの未来(多摩ニュータウンまちづくり専門家会議、2005年)、ニュータウン再生・引き潮時代のタウンマネジメント(2007年)



あさの かずゆき 株式会社アール・アイ・エー取締役名古屋支店長
浅野 和幸 一般社団法人団地再生支援協会理事

1951年生まれ。京都大学建築系学科卒業、同修士修了。1976年(株)アール・アイ・エー入社、大阪支社勤務。1997年広島支店長、2007年取締役・本社社長室長。西日本中心に市街地再開発のコンサルタント業務、団地・マンションの再生に従事。技術士(建設部門)(社)再開発コーディネーター協会・高山賞受賞(2005年)。

MOT

セミナーの内容

日程	内容	講師
1 1/24(火)	団地再生プロジェクトの様相、取組の現状 現在プロジェクト化が検討されている団地再生事例は、規模・立地、管理方式などが多様である。この概論では、そうした団地再生プロジェクトの取組み方について、実践事例を紹介しつつ、基本的な課題を整理する。	澤田
2 1/31(火)	団地再生プロジェクトの創出について スケルトン・インフィル住宅の技術開発と環境・建築再生プロジェクトの実績の豊富な実務家が、そうしたプロジェクトの創出と設計・工事の発注・管理の決め手について解説し、団地再生プロジェクトへの発展のポイントを語る。	近角
3 2/7(火)	団地再生プロジェクトの進め方について 多摩ニュータウン初期開発地区では団地建替えが始まり、20年余りを経た管理組合は“まるごと外断熱改修”を実施、電線類の埋設化を進める環境改善も始まっている。実例を通しプロジェクトの進め方を探る	秋元
4 2/14(火)	団地再生に必要な技術:ハードとソフト 団地再生を実現するにはハード、ソフトを含め多様な技術が必要です。住戸内の技術、住棟の大規模修繕やグレードアップの技術、団地全体にかかわる技術など、その技術の事例と導入方策について実務的視点から解説する。	安孫子
5 2/21(火)	団地再生プロジェクトの事業性評価 団地再生プロジェクトの実現を図る上では再生を実現するためのコストを把握し、その負担の仕組みを考え、区分所有者間の合意を形成する必要がある。団地再生プロジェクトの事業性評価について実務的視点から解説する。	田村
6 2/28(火)	プロジェクト・コンセプトを探る 講義の前半で、参加者各人の団地再生の課題(再生への発意、現況課題、計画地の立地・規模等)を整理し、後半では、それぞれの意図する団地再生プロジェクトのコンセプトのあり方をワークショップ形式で探る。	浅野

【参考書】



リバティアカデミー⑮: 団地再生・まちづくり実践講座

740円(本体) 明治大学

団地再生プロジェクトの創出から実施にかかわる知識とノウハウを体系的にまとめた初めての書。



団地再生・まちづくり② —よみがえるコミュニティと住環境

編著: 団地再生産業協議会・NPO団地再生研究会・合人社計画研究所

1,900円(本体) 2009年、水曜社

住まいとコミュニティのあり方を変える「団地再生まちづくり」がいよいよ始まる。築後数十年経過した古い団地。これを社会のストックと見なして再生していくには、どうしたらよいのか……



ラインフェルデの奇跡 —まちと団地はいかによみがえったか

著者: W.キール 訳者: 澤田誠二・河村和久

3,700円(本体) 2009年、水曜社

ラインフェルデは“成長なき時代のまちづくり”のポジティブ・メッセージである。今までのような“住宅地の拡張、人口の増加、工業の成長”がなくても“まち・都市”は立派に発展させられる。

団地再生の世界モデル・ラインフェルデが、どのようにしてこれを達成したか、本書は、その過程での行政、プランナー、市民の果たした役割を詳細に伝える。

その他: 一般社団法人団地再生支援協会ホームページ
<http://www.danchisaisei.org>を参照